

北海道高等学校文化連盟 第29回全道高等学校将棋新人大会
兼 第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会北海道大会

開 催 要 項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 後 援 北海道教育委員会 日本将棋連盟北海道支部連合会
- 3 主 管 北海道高等学校文化連盟将棋専門部
- 4 当 番 校 北海道帯広柏葉高等学校
〒080-8503 帯広市東5条南1丁目1番地
TEL 0155-23-5897 FAX 0155-23-8796
- 5 期 日 令和7年(2025年)11月7日(金)
- 6 会 場 とかちプラザ
帯広市西4条南13丁目1番地
- 7 参加資格 (1) 北海道高等学校文化連盟に加盟している学校の生徒であること。
(2) 所属学校教員の責任引率が出来ること。
(3) 個人肖像権使用承諾書を提出できること。
(4) 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校の高等部の生徒。また高等専門学校は第2年次までの生徒であること。なお、原級留置、過年度入学、転学、再入学等については考慮しない。
(5) 全日制は1年から2年までの生徒。定時制は1年から3年までの生徒であること。また、学年制をとらない学校の生徒については、出場する新人大会の行われる年度が「卒業見込み年度でない」生徒であること。「卒業見込み年度でない」とは、当該年度に当該校で1年間に修得できる最大単位数を修得しても、卒業に必要な単位数に達しないことをいう。
(6) 男子は各支部で予選を行い代表となった生徒。代表枠は石狩29名、後志2名、十勝3名、道南5名、オホーツク1名、上川・道北4名、空知2名、苫小牧・室蘭2名、釧根0名。女子は支部高等学校文化連盟将棋専門部の承認が必要となるので、支部予選がある場合は参加申込をした生徒であること。
(7) 奨励会在籍経験者は日本将棋連盟退会規定に合致していること。
- 8 参 加 料 生徒1人あたり500円(大会当日に受付にて現金納入。申込み後に辞退しても返金しない。)
- 9 参加申込 申込先(大会事務局) 北海道帯広柏葉高等学校 河野 一郎
E-mail sekkati@hokkaido-c.ed.jp
(1) メールで申込んでください。当番校HPから参加申込書をダウンロードし申込先に送信してください。[10月8日(水)16:00まで]
(2) 個人肖像権使用承諾書(本人直筆)は大会当日、受付にて提出してください。
(3) 参加申込書が届き次第、速やかに事務局から申込受理のメールを送信しますので必ず確認してください。
※ 参加申込について不明な点がございましたら、大会事務局までご連絡ください。
- 10 表 彰 男女の優勝、準優勝、第3位に賞状並びに楯を授与する。第4位、第5位には賞状を授与する。
- 11 全国大会 男子の上位2名、女子の上位2名には、令和8年(2026年)1月29日(木)~1月31日(土)、山形県で開催される第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会への出場権が与えられる。
- 12 事 務 局 申込先と同じ。
- 13 当番校より 対局環境を維持するため対局時には大会参加生徒、大会運営者、引率顧問、並びに大会主催者が許可した関係者のみ対局会場への入室を認めます。
- 14 そ の 他 宿泊・昼食の斡旋はしません。

実 施 要 領

1 競技日程	開 場	9：00～	昼休み	12：10～12：50
	受 付	9：00～	4 回戦	12：50～13：40
	開会式	9：25～ 9：35	5 回戦	13：40～14：30
	1 回戦	9：40～10：30	6 回戦	14：30～15：20
	2 回戦	10：30～11：20	閉会式	15：40～15：55
	3 回戦	11：20～12：10		

2 試合方式

- (1) 試合は男女別個人戦とする。
- (2) 男子はスイス式トーナメント 6 回戦を行う。
- (3) 女子は参加人数に応じて専門部会で決定する。別紙「出場人数における対局回数設定の細則」参照

3 選手番号の抽選

- (1) 選手番号の抽選は、事前に専門委員立ち会いのもとで実施する。
- (2) 全道高校選手権個人優勝と準優勝選手が参加する場合は上から選手番号 1、2 としてシードする。

4 持ち時間 10 分。切れたら一手 30 秒未満の秒読みとする。

5 スイス式トーナメントについて

- (1) コンピュータソフト「Swiss Perfect98」を用いて、対戦組合せ、成績算出を行う。
- (2) 対戦は原則として、同じ成績で組み合わせる。原則通り組合せができないとき（同じ成績の者の総数が奇数の場合など）は、できるだけ近い成績で組み合わせる。
- (3) 全参加者の数が奇数の場合は、bye（不戦勝）選手を設ける。
- (4) どの組合せも一回限りで、同じ相手と二度以上対戦することはない。
- (5) 原則として同じ成績のグループを上下に分け、各グループ同士で選手番号が小さい順から順番に対戦する。たとえば、選手番号が 1～48 番のとき、1－25, 2－26, ……、23－47, 24－48 が対戦する。
- (6) 男子の 2 回戦まで同校選手の不对戦を設定する。なお、スイス式対戦の組み合わせが出来ない場合はこの原則を除外する。男子の 3 回戦以降については同校選手の不对戦は設定しない。女子は参加人数に合わせて定める。

6 スイス式トーナメントの順位決定方式

- ・勝ち点が多い方が上位。
- ・同じ勝ち点になったときには、以下のような優先順位で順位を決定する。
 - ①ブックホルツ（対戦相手の勝ち点の総和）
 - ②バーガー（勝った相手の勝ち点の総和）
 - ③メディアン（対戦相手の勝ち点の最大値と最小値を引いた残りの勝ち点の総和）
 - ④プロGRESS（各回戦の勝ち点を累積した各回戦の勝ち点の総和）
- ・上記で決まらない場合
 - ㊦表彰に関わる 2 名が同ポイントの場合、直接対決で勝っている方を上位とする。
 - ①㊦で直接対決していない場合や表彰に関わらない場合は、選手番号（抽選番号）の小さい方を上位とする。